

【善通寺市】

校務DX計画

1 校務DXを推進する上での現状と課題

グループウェアを用いて校内備品の利用予定を管理したり、行事予定を大型掲示装置に表示させるなどの取り組みは徐々に増えつつある一方、校務DXを推進する上で要となるクラウドツールについて、順次導入を進めてきた所であるが、「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果、クラウドツールの活用はあまりなされていない状況であった。

また、保護者への配布物やFAX等によるやり取りが多く、ペーパーレス化が進んでいない状況である。

2 校務DXを推進するための課題解決策

その上で、クラウドツールの積極的な活用を図るため、各校のICT担当者と構成されたタブレットパソコン等活用検討委員会による情報共有や事例紹介等、全体に向けたシステム活用研修等を行う。

また、ペーパーレス化を推進するため、まず教育委員会とのやり取りの電子化を強く推進し、ペーパーレス化の意識醸成を図る。

3 次世代校務DX環境の整備について

令和5年3月に文部科学省が取りまとめた「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務DX」環境（ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上での各種データの可視化を通じたきめ細やかな学習指導等が可能となる校務DXの在り方）を目指し、必要な環境整備について今後、香川県教育委員会及び県内他市町教育委員会で協議し、検討を深める。